

エクステリアの配置方法

文書管理番号：1309-01

Q. 質問

エクステリアで犬走りを表現したい。

駐車スペースにコンクリートを表現したい。

敷地の一部だけをコンクリート打ちの表現にしたいが、敷地全体に模様が入ってしまう。

A. 回答

コンクリート打ちは、 (外構図) で  (エクステリア) を配置して表現します。

エクステリアの作図モードはいくつかあり、作図モードにより入力方法が異なります。

 (面指示)・・・作成済みの面を指示して設定します。

* あらかじめ  (面) の入力が必要です。

 (矩形配置)・・・エクステリアの配置範囲を矩形の対角 2 点 (起点—終点) で指示して配置します。

 (閉多角配置)・・・エクステリアの配置範囲を囲い、配置します。

 (張出配置)・・・出幅を指定し、起点—終点を円弧の弦となるように指示し、方向を指示します。

 (角丸め)・・・半径を指定し、角を丸めるエクステリアの角を指示します。

* あらかじめエクステリアの入力が必要です。

ここでは、 (閉多角配置) で犬走り、 (面指示) で駐車スペースを配置します。

外構図を起動後の操作から説明します。

操作手順：閉多角配置

建物周りに犬走りのコンクリートを配置する方法を説明します。

コンクリートを配置する範囲に  (配置補助) の  (補助線) を入力後、 (エクステリア) を配置します。

①  (配置補助) をクリックし、 (補助線) をクリック

②  (オフセット配置) をクリック

* 補助線の画面が表示されます。

③ 数値を入力し「OK」をクリック

* 壁芯から基礎の外表面までの距離を入力します。

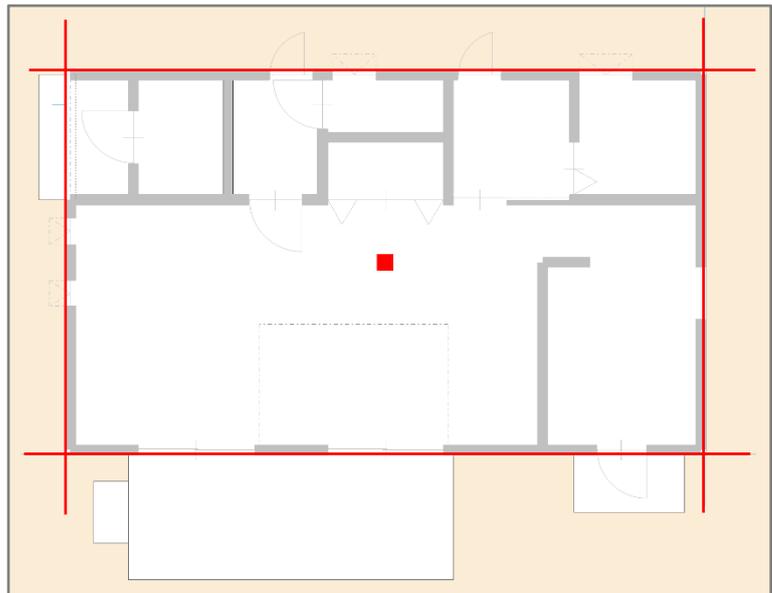
* ここでは「65」と入力します。

④ 建物外周の壁をクリックし、壁の外側を起点—終点で指示



* 壁芯から 65mm 離れた位置に、起点—終点で指示した長さで補助線が入ります。

- * 北・南・東・西方向それぞれ行います。
- * 分かりやすいよう、補助線を赤色で表示しています。



⑤ (オフセット配置)をクリック

- * 補助線の画面が表示されます。
- * 壁の外側の補助線を入力後、右クリックでも補助線の画面を表示されます。

⑥ 数値を入力し「OK」をクリック

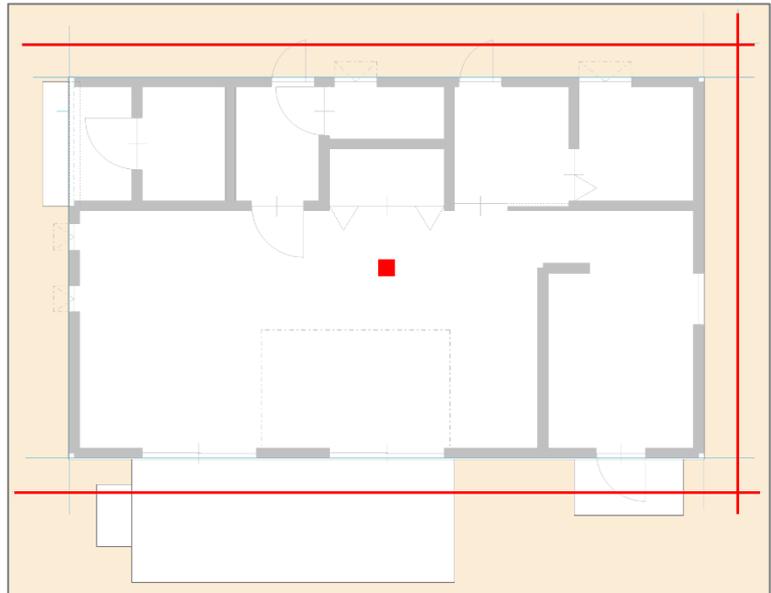
- * 犬走りの幅を入力します。
- * ここでは「500」と入力します。

⑦ 操作④で入力した補助線をクリックし、起点—終点を指示



- * 操作手順④で配置した補助線から 500mm 離れた位置に、起点—終点で指示した長さで補助線が入ります。

- * 北・南・東側それぞれ行います。
西側には入力しません。
- * 分かりやすいよう、補助線を赤色で表示しています。

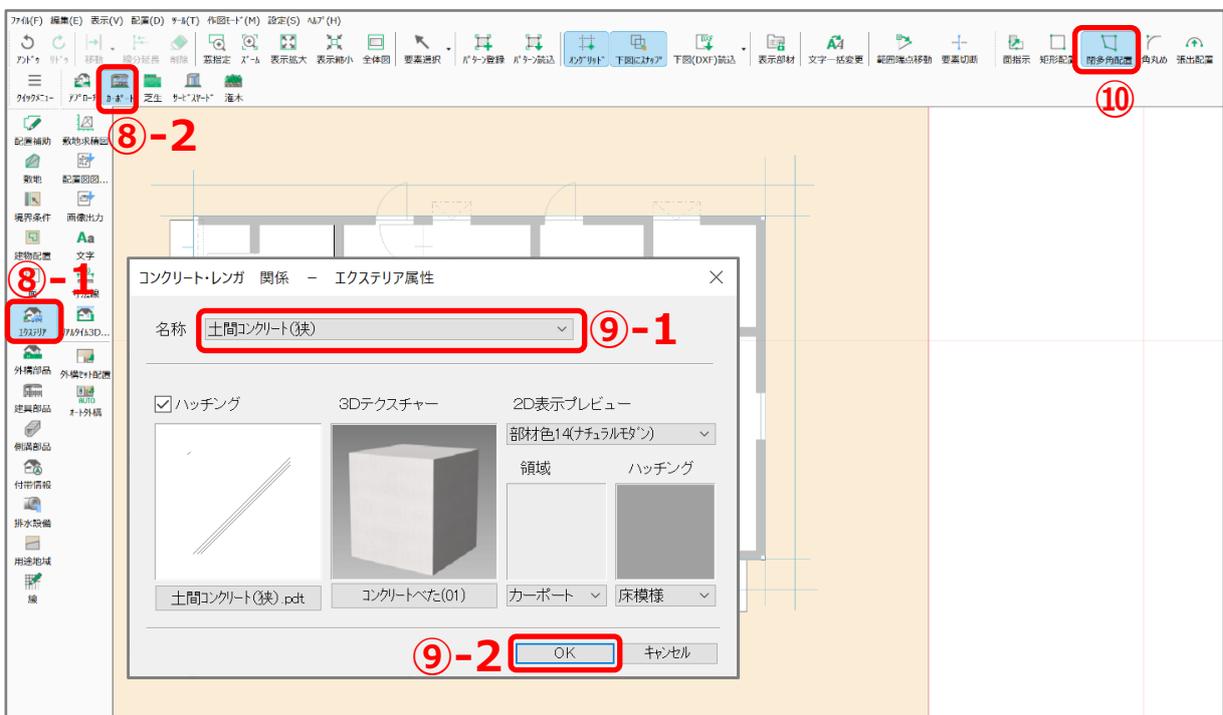


- ⑧ (エクステリア)をクリックし、 (カーポート)をクリック

- * コンクリート・レンガ 関係—エクステリア属性の画面が表示されます。

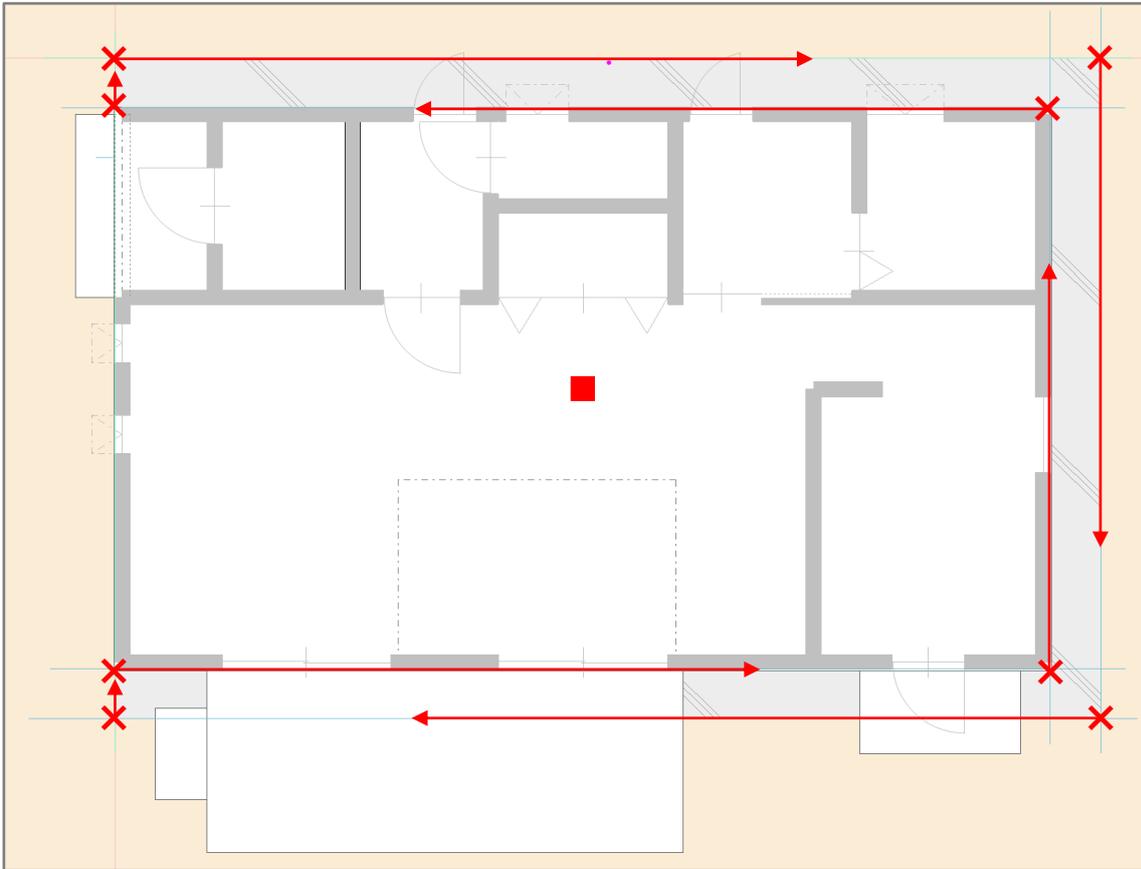
- ⑨ 「土間コンクリート(狭)」を選択し、「OK」をクリック

- * 希望の表現にあわせて、エクステリアを選択します。



⑩  (閉多角配置)をクリックし、補助線をなぞるように起点—終点—終点を指示

* 犬走りの範囲を指定します。



* 「土間コンクリート(狭)」が配置されます。

* 外構図では、プラン図の要素が優先的に表示されます。そのため、ウッドデッキやテラスの下にエクステリアが隠れていますが、実際には配置されています。



* 犬走りが配置されました。

【参考】壁芯から基礎の外表面までの距離

ここでは、 (3Dパース)の (作成条件)、
「外部」タブ内の基礎出幅の初期値に合わせて
「65mm」に設定しました。

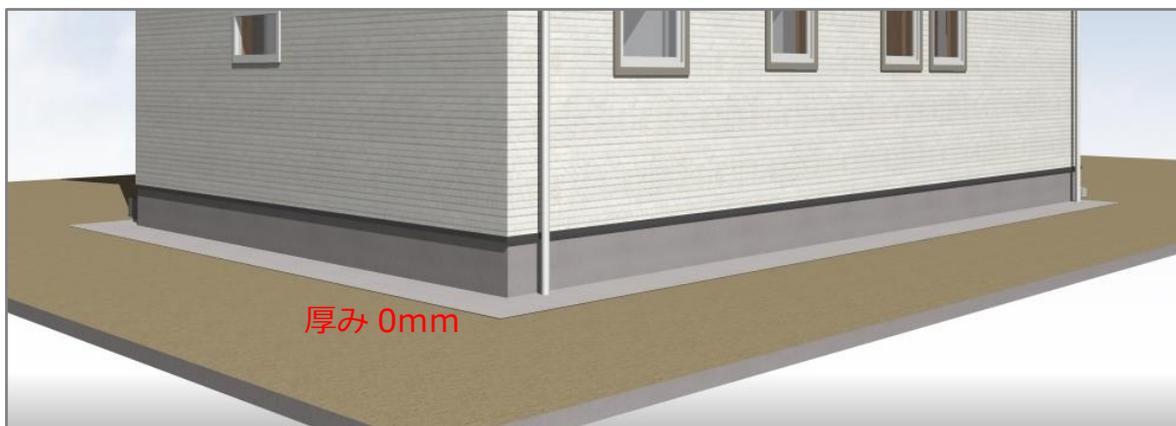
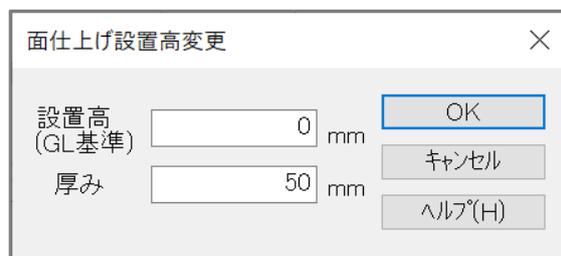
3D パース変換時には、エクステリアと基礎に
隙間や重なりが生じないように、 (作成条件)
の基礎出幅の設定値を確認・変更してください。



【参考】エクステリアに厚みを持たせる方法

エクステリアは厚みの変更が可能です。

配置済みのエクステリアを (要素選択)で選択し、
右クリックメニューの「設置高変更」から
「面仕上げ設置高変更」の画面を表示して、設
定してください。



操作手順：面指示

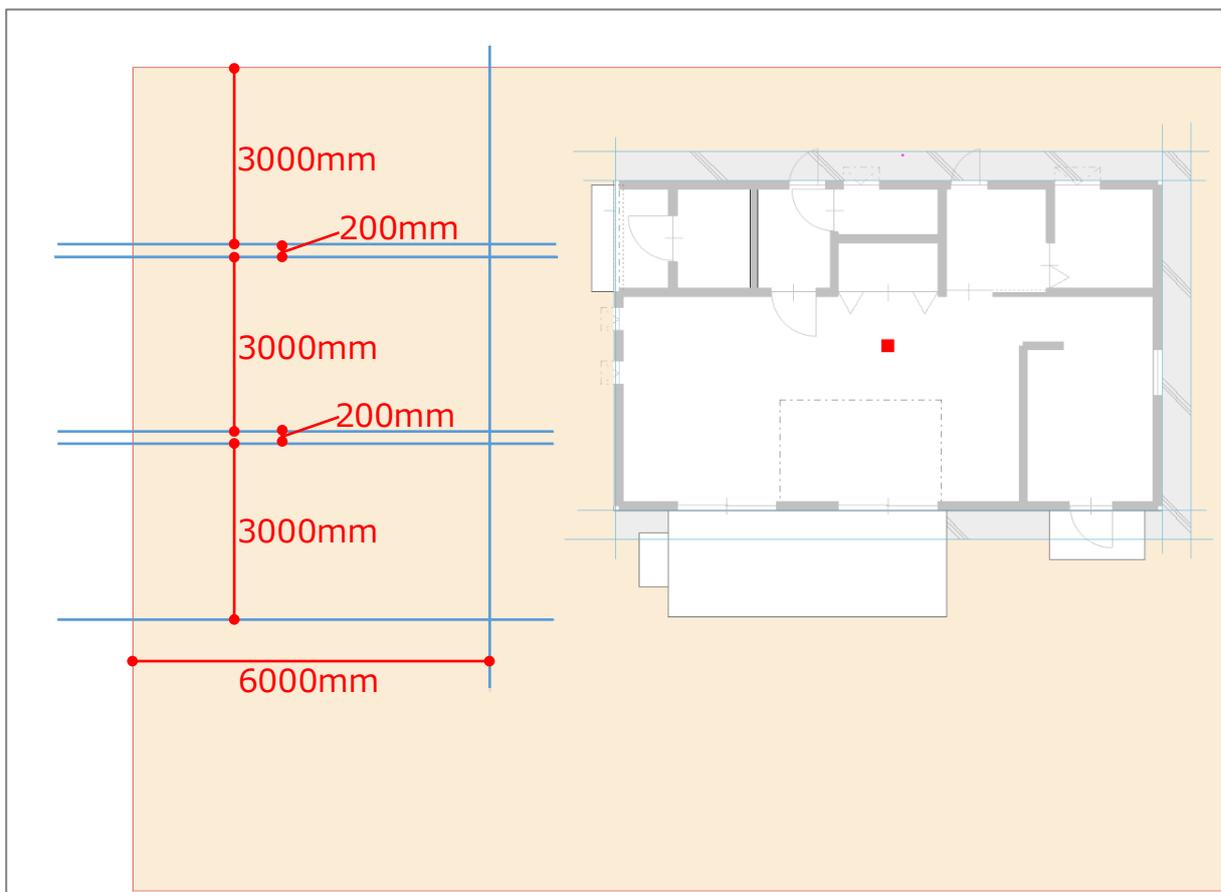
駐車スペースのコンクリートを配置する方法を説明します。

コンクリートを配置する範囲に  (配置補助) の  (補助線) を入力後、 (面) の  (面分割) を行い  (エクステリア) を配置します。

- ①  (配置補助) をクリックし、 (補助線) をクリック
- ②  (オフセット配置) を利用し、図のような補助線を配置します。

*  (オフセット配置) の詳しい操作手順は省略します。

P.2 操作①から操作④を参考にしてください。

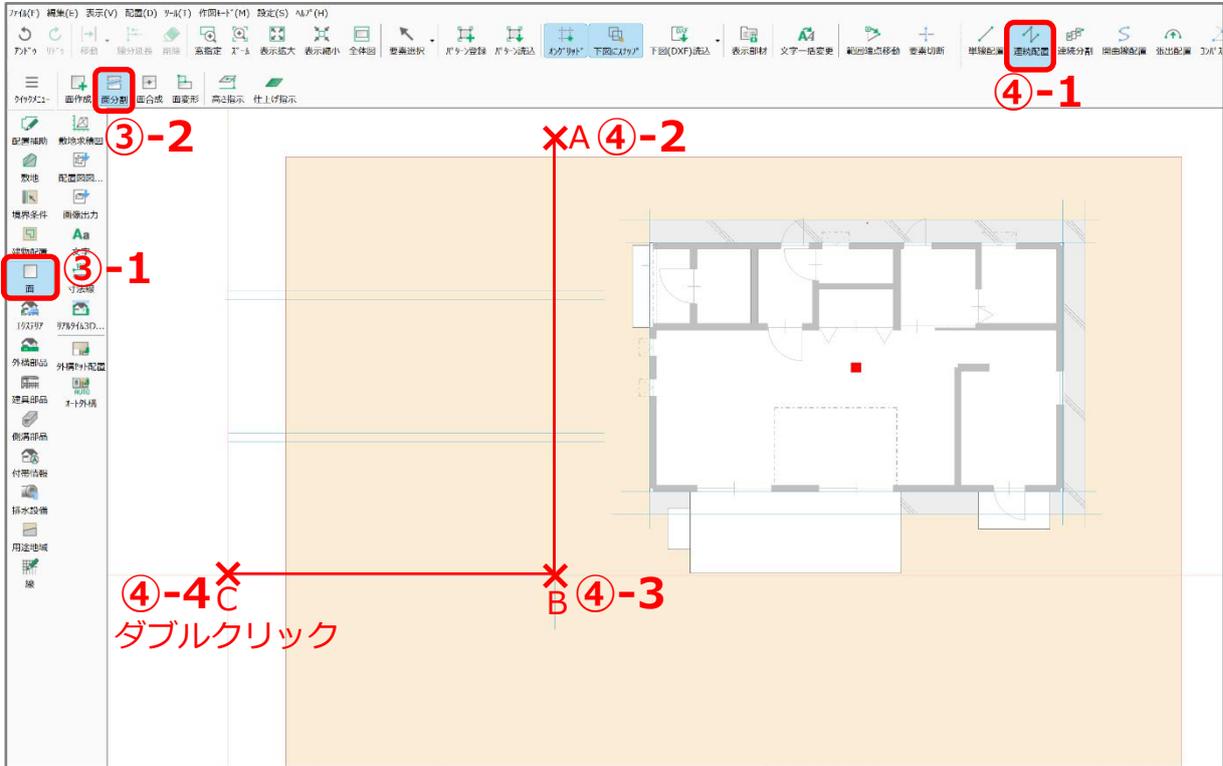


* 敷地線や補助線同士が交差するように長めに配置します。

③ (面)をクリックし、 (面分割)をクリック

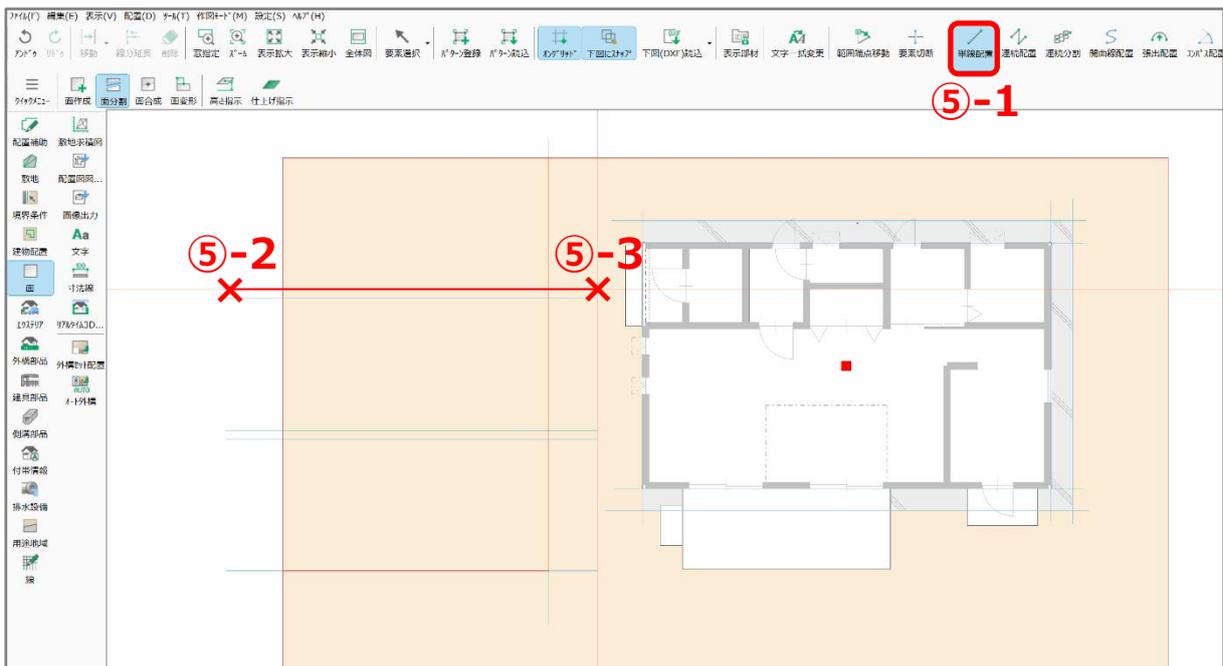
④ (連続配置)をクリックし、A—Bの順にクリック後Cでダブルクリック

* 面が分割されます。



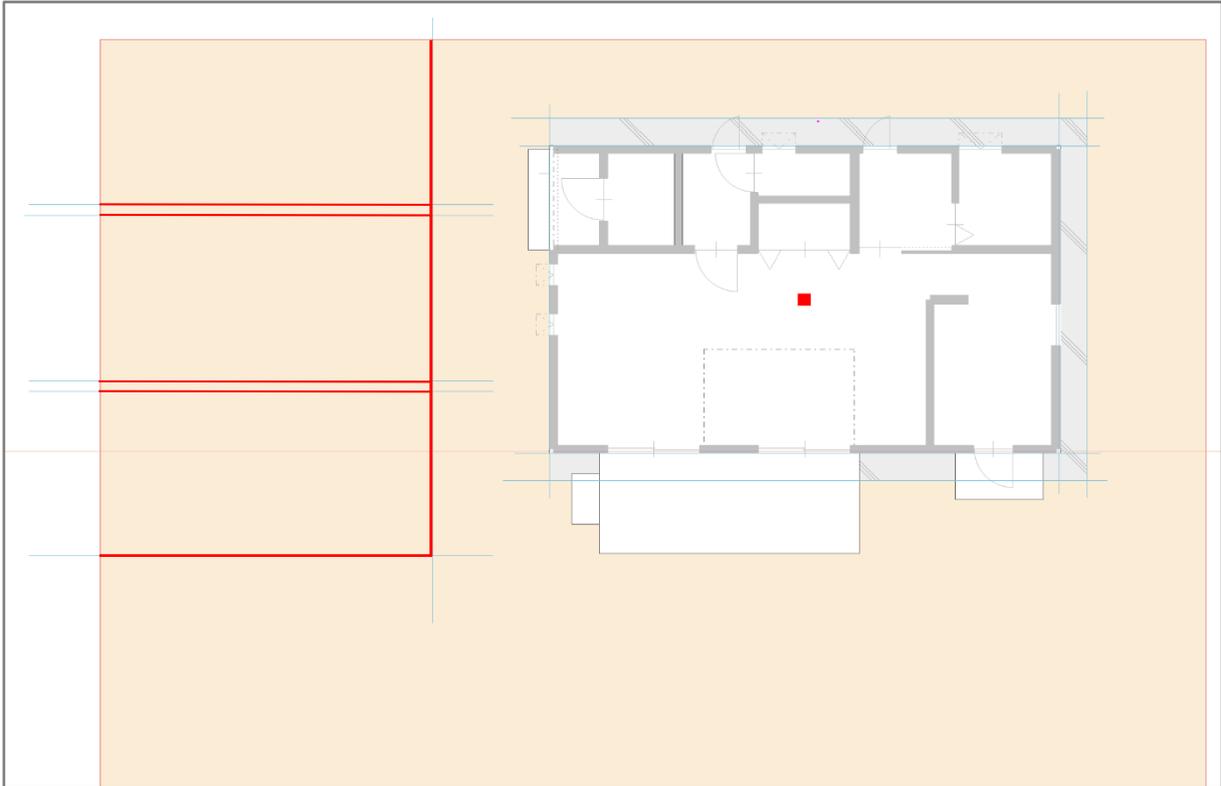
* 面の外から外に向かって入力することで面が分割されます。

⑤ (単線配置)をクリックし、起点—終点を指示



* 面の外から外に向かって入力することで面が分割されます。

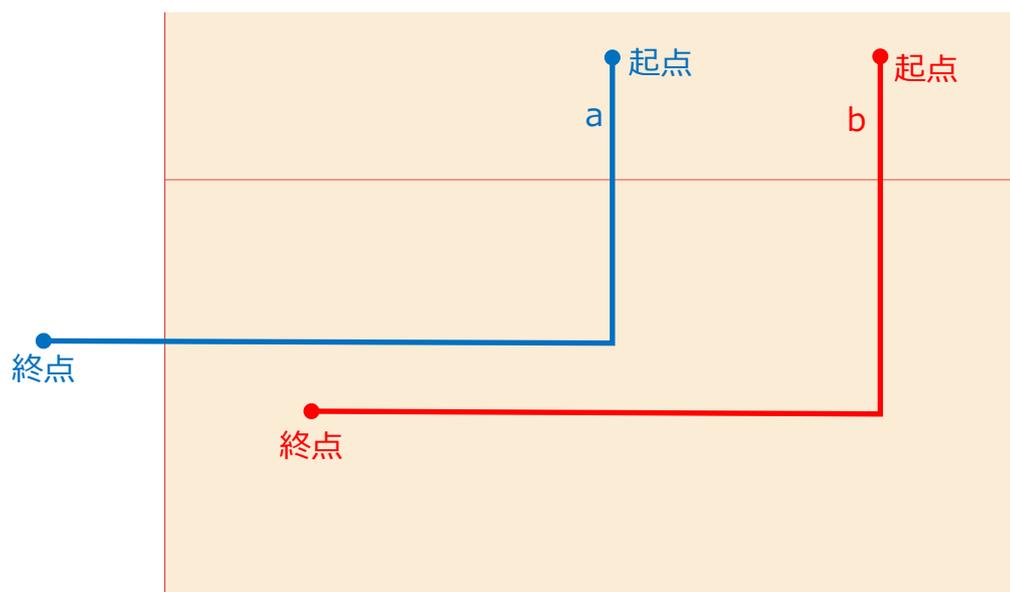
⑥ 操作⑤を繰り返し、図のように分割



【注意】 面分割

面分割は、対象となる面を横断するように分割線を指示すると分割され、面を横断せず面の途中で指示すると分割されません。

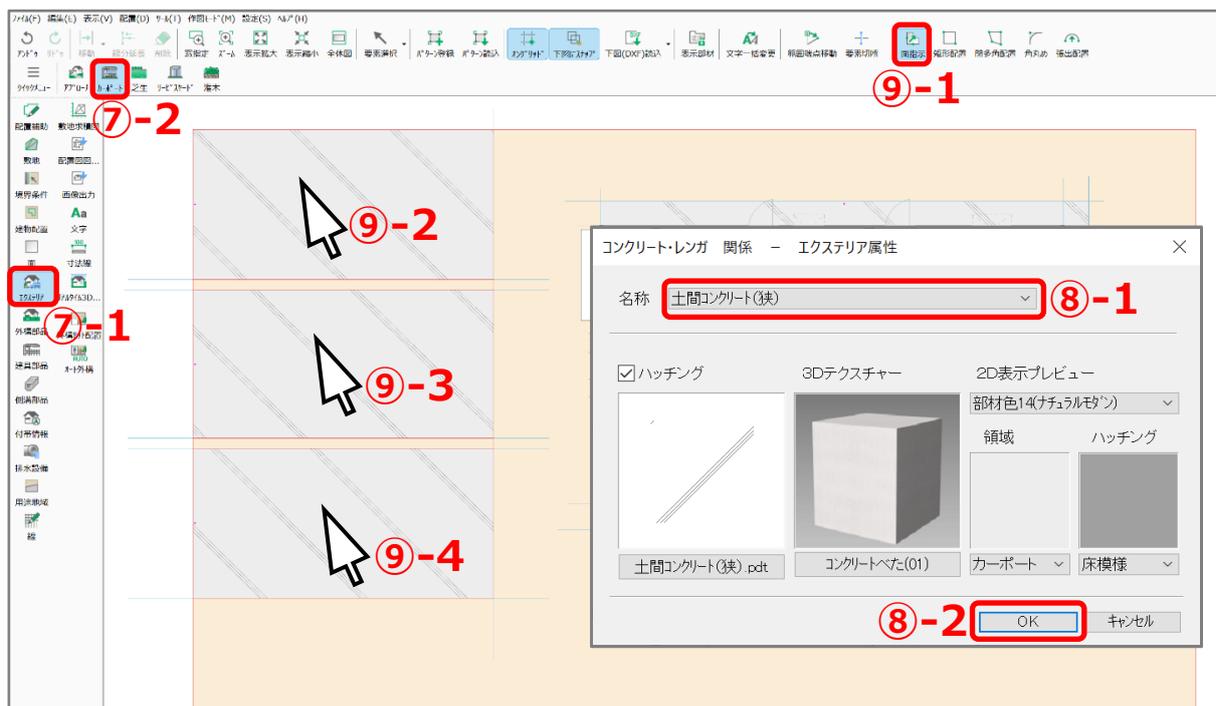
例えば、下図に示す a の分割線のように、起点と終点を対象となる面の外側で指示していれば面分割されますが、b のように終点を面の内側で指示していると面分割されません。



- ⑦ (エクステリア)をクリックし、 (カーポート)をクリック
- * コンクリート・レンガ 関係—エクステリア属性の画面が表示されます。

- ⑧ 「土間コンクリート(狭)」を選択し、「OK」をクリック
- * 希望の表現にあわせて、エクステリアを選択します。

- ⑨ (面指示)をクリックし、コンクリートにする面をクリック



- * 「土間コンクリート(狭)」が配置されます。

⑩ (サービスヤード)をクリック

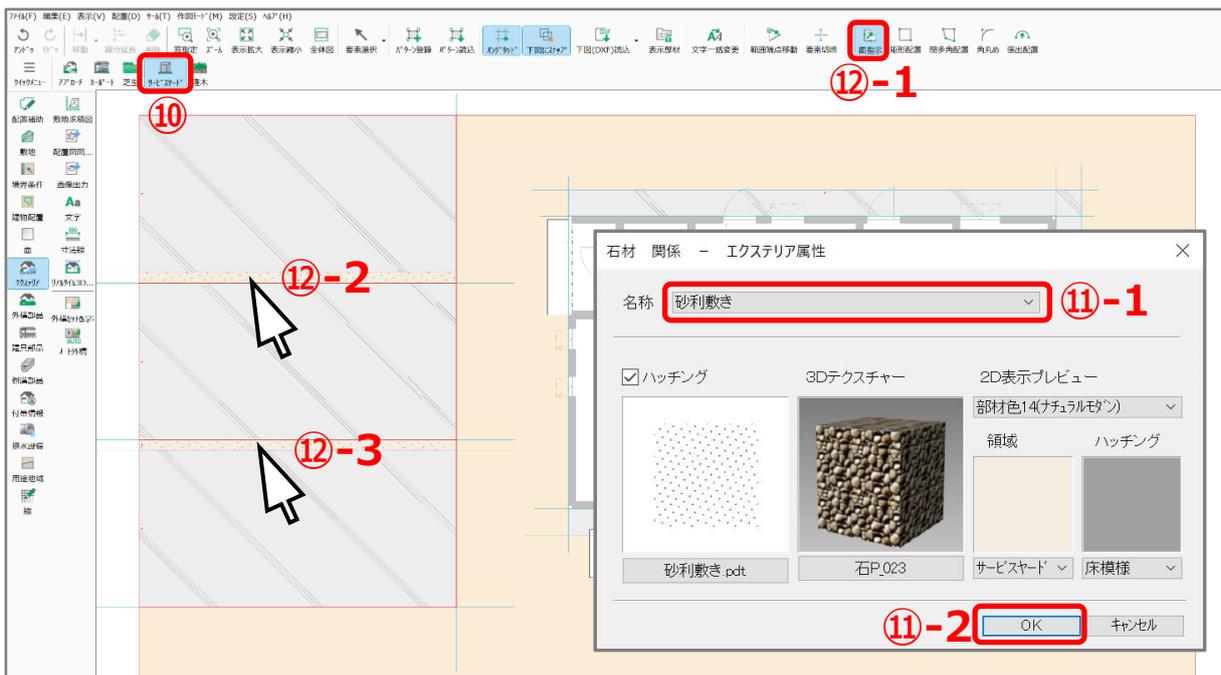
* 石材 関係—エクステリア属性の画面が表示されます。

⑪ 「砂利敷き」を選択し、「OK」をクリック

* コンクリートの目地に配置する材料を選択します。

⑫ (面指示)をクリックし、砂利敷きにする面をクリック

* 指示する範囲が狭いので、画面を拡大しての操作がおすすめです。



* 「砂利敷き」が配置されます。



* 駐車スペースが配置されました。

* 樹木と灌木を追加で配置しています。